

## 歴史総合 「Ⅱ.市民革命」を学ぶにあたって 教材解説及び授業の進め方の例

「0-1 「歴史総合の教材について」の内容を、教材の項目を見ながら読めるようにしました。どのような教材が用意されているか、授業の流れとともに確認できるので、どうぞ参考になさってください。

### 第Ⅱ単元 「市民革命」教材一覧

Ⅱ	市民革命	歴Ⅱ-1	学ぶにあたって
		歴Ⅱ-2.1	テキスト
		歴Ⅱ-2.2	予習プリント
		歴Ⅱ-2.3	予習プリント_答え入り
		歴Ⅱ-3.1	ワークシート
		歴Ⅱ-3.2	ワークシート_答え入り
		歴Ⅱ-4.1	資料を読みとろう
		歴Ⅱ-4.2	資料を読みとろう_答え入り
		歴Ⅱ-5	漢字テスト
		歴Ⅱ-6.1	重要語句説明
		歴Ⅱ-6.2	確認テスト

**歴Ⅱ-1「学ぶにあたって」**

**項目**

教材一覧及び教材の概略説明 1~7 頁  
本単元の概要や注意点 8 頁

「学ぶにあたって」(本教材)の8頁以降に、本単元の概要や注意点が記述してあります。

**解説**

- 1 アメリカの独立革命
- 2 教科書では啓蒙思想を扱わない
3. フランス革命

歴史総合 「Ⅱ.市民革命」を学ぶにあたって  
教材解説及び授業の進め方の例

「0-1 「歴史総合の教材について」の内容を、教材の項目を見ながら読めるようにしました。どのような教材が用意されているか、授業の流れとともに確認できるので、どうぞ参考になさってください。

第Ⅱ単元 「市民革命」教材一覧

**印字見本**

	歴Ⅱ-1	学ぶにあたって
	歴Ⅱ-2.1	テキスト

教材のタイトルを表します

空色は  
教師用資料であることを示します

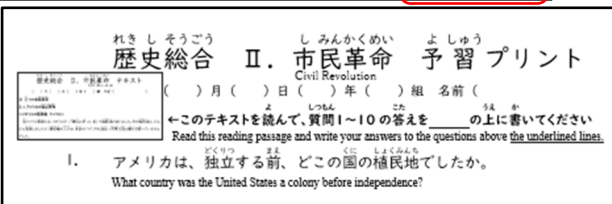
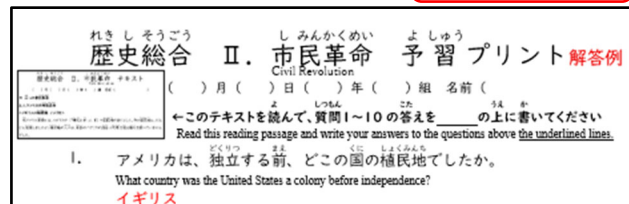
この教材の主な項目(見出し)を載せました。教材が取り上げている内容がわかります。

この教材に関する解説が載せてあります。授業で使用する際の参考になさってください。

本教示のスクリーンショットを「印字見本」として載せました。小さくて見づらいと思いますが、解説を読む際の参考になさってください。



歴Ⅱ-2.1「テキスト」	
<p><b>Ⅱ.市民革命</b></p> <p>2.二つの市民革命</p> <p>2.1 アメリカの独立革命</p> <p>&lt;イギリスの植民地 アメリカ&gt;</p> <p>&lt;アメリカからイギリスが独立するきっかけ&gt;</p> <p>&lt;アメリカの独立&gt;</p> <p>2.2 フランス革命</p> <p>&lt;17世紀後半のフランス—絶対王政&gt;</p> <p>&lt;18世紀のフランス—フランス革命&gt;</p> <p>&lt;18世紀後半のフランスの不安定な政治&gt;</p> <p>&lt;ナポレオンの時代&gt;</p> <p>&lt;ナポレオンのあとのヨーロッパ&gt;</p>	<div style="text-align: center;"> <p>れきし そうごう 歴史総合</p> <p>し みんかくめい Ⅱ. 市民革命</p> <p>Civil Revolution テキスト</p> <p>( )月( )日( )年( )組 名前( )</p> </div> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">印字見本</div> <p>Ⅱ 二つの市民革命</p> <p>2.1.アメリカの独立革命</p> <p>&lt;イギリスの植民地 アメリカ&gt;</p> <p>北アメリカ東部には、イギリスが17世紀に作った13の植民地がありました。その植民地は、どんどん発展しましたが、植民地の人々は、本国のイギリスの議会に代表を送る権利を持っていません。</p> <hr/> <p>II Two Civil Revolutions</p> <p>2.1. American Revolution</p> <p>&lt;British Colonies in America&gt;</p> <p>In eastern North America, there were 13 colonies established by England in the 17th century. The colonies grew rapidly, but the colonists did not have the right to send representatives to the British Parliament in their home country.</p>

<p>●「2.1 テキスト」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JSL 生徒に予習してきてもらうために作成しました。</li> <li>・「歴史総合」の教科書のポイントを「やさしい日本語」でわかりやすくまとめたもので、どれか一つの教科書に拠ることは避けました。前提知識となる部分については、中学校の歴史教科書の内容も含んでいます。</li> </ul> <p>●「テキスト」の記述に用いた「やさしい日本語」とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の身近な話題で使われる言葉を用いる 例:「記述する」ではなく、「書く」を用いる</li> <li>・文の構造を簡単にする ・だれが、何を、いつ、なぜ、どのようにしたのか、を中心に書く</li> </ul> <p>●「テキスト」における英語訳の役割とほかの言語への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やさしい日本語」でも理解が難しい JSL 生徒のために、文章全体の英語訳がつけてあります。英語が不得手な学習者には、翻訳ソフトを利用して、母語の翻訳を渡してもいいでしょう。</li> <li>その場合は、英語訳をコピーして翻訳ソフトに貼り付けた方が誤訳が少なくなります。例えば、日本語→英語、英語→シンハラ語のデータは豊富にあります。日本語→シンハラ語のデータは圧倒的に少ないため、誤訳が多くなります。</li> </ul> <p>●内容理解の確認には、「2.2 予習プリント」を使います。</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">解説</div>
--	---

歴Ⅱ-2.2「予習プリント」	
歴Ⅱ-2.3「予習プリント_答え入り」←教師用	
<p>「2.1 テキストⅠ.産業革命」の内容理解を確認する問題 10 題を出題。</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">項目</div>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">印字見本</div>
	

<p>●「2.2 予習プリント」は、「2.1 テキスト」の内容理解を確認するための問題が用意されています。</p> <p>年号、単語、短文で書く簡単な問題です。日本語を読むのが難しい生徒には、この「2.2 予習プリント」の確認問題の答えが書かれている部分に下線を引いた上述の「2.1 テキスト」のプリント渡してもいいでしょう。</p> <p>●生徒配付用と解答例の2種類があります。</p> <p>●答え合わせは、教室授業で行うことを想定しています。答え合わせの際は、「テキスト」のどの部分に書かれているのか、生徒に質問した上で、答えを言うてもらうといいでしょう。</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; color: red; font-weight: bold;">解説</div>
--	---

歴Ⅰ-3.1「ワークシート」  
**歴Ⅰ-3.2「ワークシート\_答え入り←教師用**

<p><b>Ⅱ 市民革命</b></p> <p>考えよう</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Q1 アメリカとフランスの市民革命に共通する考え方は、何か <span style="float: right; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">①</span></p> <p>Q2 政治の権力を持つ人は、市民革命で、誰から誰に変わったか</p> <p>Q3 市民革命で生まれた「国民」とは、どういう意味か。</p> </div> <p>① →</p> <p>【1】アメリカ独立革命          (1) アメリカの独立まで (2) アメリカ合衆国憲法</p> <p>【2】フランス革命          (1) 革命前のフランス: 絶対王政 (2) 革命の始まり          (3) 王政をやめる (4) ナポレオンの登場          (5) ナポレオンの大陸支配 (6) ナポレオンの退場</p> <p>【3】まとめ: フランス革命で何が変わった?</p>	<div style="text-align: center;"> <p>歴史総合 Ⅱ. 市民革命 ワークシート Civil Revolution</p> <p>( )月( )日( )年( )組 名前( <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">印字見本</span> )</p> <p>考えよう</p> <p>Q1: アメリカとフランスの市民革命に共通する考え方は、何か。 Civil Revolution common</p> <p>Q2: 政治の権力を持つ人は、市民革命で、誰から誰に変わったか。 political power</p> <p>Q3: 市民革命で生まれた「国民」とは、どういう意味か。</p> </div> <p>【1】アメリカ独立革命          (1) アメリカの独立まで</p>  <p>イギリスの 13植民地 ← ③</p> <p>(1) 革命前のフランス: 絶対王政 ← ③          ? 絶対王政=君主制って、なに?</p> <p>16~18世紀のヨーロッパでは、国王一人が強い力を持って政治を行っていた</p>  <p>第一身分: 神聖職の者たち (教会) ← ② 税金(ある/ない)</p> <p>第二身分: 貴族 ← ③ 税金(ある/ない)</p> <p>第三身分: 平民 税金と強制労働 ②身分って、なに? 生まれた家によって、地位や</p>
--	--

●「ワークシート」を使って、教室授業を進めます。

**解説**

「3.1 ワークシート」は、学習者配付用です。

「3.2 ワークシート\_答え入り」は、教師用です。解答例のほか、注記事項が授業の参考になります。また、後半には、授業終了後、生徒が確認できるよう、解説を外して、答えだけのものも付けてあります。

●「考えよう」の役割 ← ①

この単元で考えてほしい最も基本的な課題を掲げました。「ワークシート」の最後に、各自が課題について理解できたことを、日本語や生徒の得意な言語でまとめる欄があります。授業担当の先生が知らない言語でも、スマホのカメラ入力翻訳ソフト(Google Lenz 等)を使えば、生徒が書いた内容がチェックできます。

●教師の役割

教師が一方向的にレクチャーする形ではなく、「考えよう」に掲げた本質的な問いに取り組みせ、意見を言わせながら、対話的な深い学びに結びつけることが肝要です。

授業の中で、教師と対話しつつ、基本事項が書き込めるように( )を設けています。生徒から( )内に入ることを口頭で引き出せるとよいでしょう。

●ワークシートのルビと訳語について

歴史を学習する上では重要な語句ではあっても、JSL 生徒が使用している初級レベルの日本語教科書(『みんなの日本語』など)では扱わない語(例: 権力、など)には、ルビと英訳をつけました。学習者が辞書で調べる負担を減らし、授業内容に集中してもらうためです。

●「5.漢字(読み)テスト」との連動 ← ②

ワークシートに下線がついている語句は、「5 漢字読みテスト」の出題対象であることを示しています。

例: 身分、教会、税金

●「6.1.重要語句説明」「6.2 確認テスト」との連動 ← ③

ワークシートに   がついている語句は、「6.1 重要語句説明」に詳しい説明と英訳・中国語訳があることを生徒に伝えてください。また、「6.2 確認テスト」の対象にもなっています。

例: 植民地 ← 漢字テストと重要語句説明・確認テスト 絶対王政 ← 重要語句説明・確認テスト

**歴Ⅱ-4.1「資料を読み取ろう」**  
**歴Ⅱ-4.2「資料を読み取ろう」答え入り←教師用**

**資料を読み取ろう 2** 項目

1. アメリカの独立宣言の内容をまとめよう
2. フランスの人権宣言の内容をまとめよう。
3. アメリカの独立宣言とフランスの人権宣言に共通している考えは何か。
4. フランス革命で社会はどう変わったのか。二つの絵を比べて説明しよう。
5. アメリカの「独立宣言」、「合衆国憲法」、フランスの「人権宣言」、これらの考え方は、どこから来たのか

歴史総合 Ⅱ. 市民革命 **資料を読み取ろう 2** 解答例  
Civil Revolution

( )月( )日( )年( )組 名前( )

**1. アメリカの独立宣言の内容をまとめよう。** 印字見本 2

次の文中の( )にあてはまる言葉を考えて記入しよう。

**資料** 1776年 独立宣言  
Declaration of Independence


・全部の人は( **平等** )だ。  
equal

・みんなが命、( **自由** )、幸福になる権利を持っている。  
life liberty happiness rights


・( **政治** )は、みんなの声を聞いて、みんなの権利を守るためである。  
politics defend

**4. フランス革命で社会はどう変わったのか。二つの絵を比べて説明しよう。**

フランス革命前



フランス革命後



(1) 答えを下の( )の中から選んで、( )に記号を書きなさい。

① 革命前の絵で、苦しそうにしている人は誰ですか。( **C** )

② 革命前の絵で、岩の上に乗っている人は誰ですか。( **A B** )

**A** 第一身分/教会の人    **B** 第二身分/貴族    **C** 第三身分/平民

(2) 左右の絵の中の岩は、何を表していますか。( **税金** )

歴史総合 Ⅱ. 市民革命 **資料を読み取ろう 2**  
Civil Revolution

( )月( )日( )年( )組 名前( )

**1. アメリカの独立宣言の内容をまとめよう。** 印字見本 1

次の文中の( )にあてはまる言葉を考えて記入しよう。

**資料** 1776年 独立宣言  
Declaration of Independence

・全部の人は( )だ。

・みんなが命、( )、幸福になる権利を持っている。  
life happiness rights

・( )は、みんなの声を聞いて、みんなの権利を守るためである。  
defend

・もしそれができないとき、人々は政府を変えることができる。  
government change

**解説**

●「主体的・対話的な学び」につながる教材  
 写真・図表・地図の読み取りなどが、「主体的・対話的な学び」のキーになることが多くあるため、用意した教材です。日本語力の不十分さを補う工夫をすることで、こうした活動も可能になります。

●JSL生徒の日本語力の不十分さを補う工夫

- ・読み取りの支援—史資料の中に出てくる文字のルビと意味、英語訳などをつけました。
- ・発表への支援—読み取った内容を発表するときに、日本語の表現がわからないことがよくあります。そのため、( )に読み取った語句を入れれば発表ができるようにしました。

●活発な教室活動につなげる工夫

- ・授業で使用している教科書の資料に合わせて、先生方が教材を作成することがもっとも望ましいと考えます。その際に、上記の読み取りや発表への支援をしていただければ活発な教室活動が可能になります。

本単も、学期初めの授業に当たるため、生徒の日本語力・既有知識の把握に本教材を役立て下さい。

2.1 テキスト — 「やさしい日本語」で記述されたテキストをどの程度音読できるか。【読む力】

2.2 予習プリント 【読む力】【書く力】

- ・内容が理解できているか。
- ・テキストのどの部分を見れば(読めば)、解答することができるか、生徒がわかっているか。
- ・どの程度、日本語を書くことができるのか

3.1 ワークシート 4.1 資料を読み取ろう 【書く力】【話す力】

- ・書き取ったことをもとに発表することができるか

「I.産業革命 1.学ぶにあたって」8頁「2.1 学期の最初の時期の授業」をご参照ください。

## 歴Ⅱ-5「漢字テスト」

歴Ⅱ-5「漢字テスト」	歴史総合Ⅱ、市民革命 漢字テスト 解答
<p>歴史総合Ⅱ、市民革命 漢字テスト /28</p> <p>( )月( )日( )年( )組 名前( )</p> <p>1. イギリスは、①<u>東</u>海岸の②<u>植民地</u>の③<u>独立</u>を認めた。 east coast colony independence accept</p> <p>2. 民主主義を④<u>実現</u>する⑤<u>革命</u> democracy realize revolution</p> <p>3. ⑥<u>合衆国</u>⑦<u>憲法</u>を決めた。 United States Constitution establish</p> <p>4. アメリカ合衆国の⑧<u>初代</u>大統領は、ワシントンで。 United States of America the first president Washington</p> <p style="text-align: center;"><b>印字見本 1</b></p>	<p>歴史総合Ⅱ、市民革命 漢字テスト 解答</p> <p>( )月( )日( )年( )組 名前( )</p> <p>1. イギリスは、①<u>東</u>海岸の②<u>植民地</u>の③<u>独立</u>を認めた。 east coast colony independence accept</p> <p>2. 民主主義を④<u>実現</u>する⑤<u>革命</u> democracy realize revolution</p> <p>3. ⑥<u>合衆国</u>⑦<u>憲法</u>を決めた。 United States Constitution establish</p> <p>4. アメリカ合衆国の⑧<u>初代</u>大統領は、ワシントンで。 United States of America the first president Washington</p> <p style="text-align: center;"><b>印字見本 2</b></p>

**解説**

## ●漢字の定着を図るための「漢字(読み)テスト」

漢字の読み書きができることは教科の学習には非常に重要です。JSL生徒は、日常生活で使われる漢字は、日本語教科書(『みんなの日本語』など)で学びますが、教科学習の漢字は、日本語教科書では習わないことが多く、しかも、日常生活では使用頻度が低いため、定着が困難です。

漢字の定着には、教科学習の文脈の中で漢字や語句の「意味」「読み」「形」を結びつけて覚えるのが効果的です。

## ●「漢字(読み)テスト」の対象となる語句

本教材の「3-1.ワークシート」の下線部分の語句です。本資料3頁の「3.1ワークシート」の解説をご参照ください。

## ●漢字学習の方法

①授業の終わりに生徒に「漢字クイズ解答(印字見本2)」を渡す。

紙の節約のため、また、以下の②がやりやすいよう、A4サイズ1枚に2頁収めたので、両面印刷にして、テスト(印字見本1)と解答(印字見本2)の両方を渡してもよい。

②生徒には、「漢字クイズ解答」をスマホに写真で取り込み、通学や空き時間に「見て覚える」よう促す。

③「独立:どくりつ」と読みだけを覚えるのではなく、テストの対象となっていない漢字にもルビを付けたので、文の意味も自分で調べた上で覚えることを勧める。

## ●テスト実施

「印字見本1」を印刷して、次回の授業の初めに小テストとして行う。

## ●漢字解答のルビ振りの注意

・ルビは単漢字ごとに(「文字単位」で)振る。(漢字になじみがない生徒は「歴史」を「歴史」と書く間違いも生じます)

・生徒はルビを読んで学習します。本教材を参考に、先生ご自身が漢字テストを作成される場合は、ルビのポイントを大きくすると、濁点の有無、拗音・撥音等小さい文字の判別がしやすくなります。

## 歴Ⅱ-6.1「重要語句説明」

## 印字見本

歴史総合 Ⅱ.市民革命 Civil Revolution 6.1重要語句説明

[3.1ワークシート]で

があることはの説明です。

No.	語句	説明
1	植民地 Colonies 殖民地	<p>他の国から来た人たちが、その地域で、政治や経済などいろいろな面で支配している場所。たとえば、強い国が必要なものをその国で作らせたり、強い国の工業製品をその国で売ったりして、利用している状態。</p> <p>A place where people from another country dominate the region in many ways, including politics and economics. A situation in which a strong country is taken advantage of, for example, by having something it needs made in that country or by selling industrial products of a strong country in that country.</p> <p>来自其他国家的人在该地区在许多方面占主导地位，包括政治和经济。一个强国被利用的情况，例如，让它所需要的东西在该国制造，或在该国销售强国的工业产品。</p>

## 解説

## ●「重要語句」とは？

生徒が意味を理解することが必要な歴史用語のこと。日本語、英語、中国語で説明文を作成しました。

「3.1ワークシート」では、重要語句を  で囲んであります。但し、「\*2.議会政治」「\*9身分制度」は、ワークシートでは使われていませんが、重要な言葉なので、覚えるよう、勧めてください。

## ●「重要語句説明」の使用言語

- ・「やさしい日本語」
- ・英語
- ・中国語

歴史的事項の説明は正確さを要することから、「やさしい日本語」だけでは意味が伝わりにくい  
ため、英語訳に加え、中国語訳もつけた。

## ●「重要語句説明」の使い方

①授業、特に「3.1ワークシート」を利用した授業で、重要語句が出てくるたびに意味の確認に使うことを想定しています。

←歴史用語は授業以外の生活では使用頻度が低く、授業の中で、耳で聞くだけでは意味がすぐに  
思い出せないこともよくあります。以前の単元で取り上げた「重要語句」も、繰り返し載せました。

③定期考査の機会に、それまでに学んだ「重要語句」の理解をまとめてチェックすることもできます。

④授業で使用する Microsoft PowerPoint 等のスライド資料に加えておくと便利です。

## 歴Ⅱ-6.2「確認テスト」

重要語句を覚えたか、説明ができるか、教師・生徒が確認できるよう、「確認テスト」を3種類用意しました。

## 印字見本

## 歴史総合 Ⅱ.市民革命 Civil Revolution 確認テスト(1)

「6.1重要語句説明」のプリントで勉強しましたか。下の説明を読んで、どのことばの説明か、正しいことばを次のページの [ ] の中から選んで、記号(ア〜ツ)を答えの欄に書きなさい。

No.	説明	答え
1	<p>他の国から来た人たちが、その地域で、政治や経済などいろいろな面で支配している状態。他の国から来た人たちが政治や経済の力をもっている。一方、前からそこに住んでいた人たちは自分たちで決める力をもっていない。</p> <p>A state in which people from other countries dominate an area. The people from other countries have political and economic power, while the people who have lived there for a long time do not have the power to make decisions for themselves.</p> <p>一个地区被其他国家的人所主宰的国家。其他国家的人拥有政治和经济权力，而长期生活在那里的人却没有权力为自己做决定。</p>	

どのことばの説明ですか。下から正しいことばを選んで、その記号(ア〜カ)を答えの欄に書きなさい。

ア)階級 イ)資本 ウ)資本家 エ)資本主義 オ)社会主義 カ)植民地

## 歴史総合 Ⅱ.市民革命 Civil Revolution 確認テスト(2)

どのことばの説明ですか。説明を読んで、正しいことばを答えの欄に書きなさい。

No.	説明	答え
1	<p>他の国から来た人たちが、その地域で、政治や経済などいろいろな面で支配している状態。他の国から来た人たちが政治や経済の力をもっている。一方、前からそこに住んでいた人たちは自分たちで決める力をもっていない。</p> <p>A state in which people from other countries dominate an area. The people from other countries have political and economic power, while the people who have lived there for a long time do not have the power to make decisions for themselves.</p> <p>一个地区被其他国家的人所主宰的国家。其他国家的人拥有政治和经济权力，而长期生活在那里的人却没有权力为自己做决定。</p>	

## 歴史総合 Ⅱ.市民革命 Civil Revolution 確認テスト(3)

ことばの説明を答えの欄に書きなさい。

No.	語句	答え
1	植民地 Colonies 殖民地	

## 解説

## 確認テスト(1)

- ・日本語初級者向け
- ・説明を読んで該当する語の記号(ア、イ、ウなど)を書く形式。
- ・カタカナは、自分の名前以外読めない、書けないことが多いため、カタカナに触れる機会が少しでも増えるよう、記号は、a,b,c などではなく、カタカナにしました。

## 確認テスト(2)

- ・日本語中級者向け
- ・説明を読んで、該当する重要語句を書く形式。

## 確認テスト(3)

- ・日本語上級者向け
- ・重要語句を見て、その説明を書く形式。
- ・生徒の母語で書いてもよい。ただし、教師が内容をチェックする場合は、翻訳ソフトに付ける必要がある。

## 歴史総合 「Ⅱ. 市民革命」を学ぶにあたって

### 1. アメリカの独立革命について

歴史総合では、アメリカの独立そのものを知識として学ぶのではなく、市民革命の観点から取り上げています。そのため、独立までの反対運動には触れず、合衆国憲法が女性や先住民、黒人奴隷の基本的人権を認めていなかったことなどにも触れていない教科書があります。

中学校や母国でアメリカの独立について学んだことがない生徒にとっては、知識としては不十分ですが、市民革命については、フランス革命で主に学び、奴隷制度廃止については、国民国家とナショナリズムの単元で、南北戦争を取り上げることで補完されると考えることにします。

### 2. 教科書は啓蒙思想を扱わない

歴史総合では、いきなり市民革命の単元が始まっていますが、その基本理念である人民主権、三権分立などがどのように生まれてきたのかについては扱いません。中学校の歴史で学んできており、概念については中学校の公民で学習済みであるという前提になっているからです。

しかし、生徒たちの出身国の政治体制や社会科の学習内容は国によって異なり、民主主義、多数決、基本的人権などについて、ほとんど知識がない生徒もいます。歴史総合に先立って公共を学ぶカリキュラムになっていない場合、こうした知識を欠いたままでは、結局、市民革命がどういう意味なのか理解できないでしょう。

そこで、三権分立は、今後の学習のためにもここで説明しておくことが必要と考えて、ワークシートに簡単に説明を加えました。

さらに、「4.1 資料を読み取ろう」では、「独立宣言」「人権宣言」の内容を「やさしい日本語」で読み取る活動を扱いました（簡単な日本語に書き直したものを「リライト教材」と呼びます）。教科書に出ている資料と見比べて、重要な語句を選びだします。この活動で、「独立宣言」「人権宣言」にはどんなことが書いてあるのかを知り、そうした思想はどこから出てきたのかについては、各自の得意言語で情報検索できるようにしました。十分ではありませんが、興味をもった生徒は自分で知識を広げることができると思います。

### 3. フランス革命について

フランス革命も、市民革命としての性格を描き出すことが主眼で、教科書によっては、驚くほど事実関係が縮約されています。そのため、何があったのか、どうしてそうなったのか理解できません。そこで、「やさしい日本語」による「2.1 テキスト」の方で、何とか流れがわかるように、少し丁寧にまとめました。興味をもった生徒は、自分の得意な言語で、情報を集めるとよいでしょう。

なお、フランス革命→ナポレオンの支配→ウィーン体制という歴史の流れのどこで、市民革命の意味、国民という意識、ナショナリズムについて取り上げるかは、教科書によって異なりますが、ここでは、ナポレオン時代までを取り上げたので、その最後に、「まとめ」を入れました。

「第三身分」の中には多様な階層が含まれますが、ブルジョアジーについて扱う教科書はごく一部なので、ここでは取り上げませんでした。ただし、次に革命を学ぶのは、ロシア革命になります。革命の性格の違いに気づくためにも、ここでごく簡単に平民の中にも利害の違いがあったことを示しておきました。